



帰国報告書

【香港日本人学校勤務を終えて】

元香港日本人学校小学部香港校 教諭
現北斗市立谷川小学校教諭 齋藤政洋

1. はじめに

香港特別行政区（ホンコンとくべつぎょうせいく）、通称香港（ホンコン）は、1997年7月1日にイギリスから主権移譲された中華人民共和国の特別行政区の一つであり、アジア屈指の世界都市です。超高層ビル密集率は、ニューヨークのマンハッタンについて世界第2となっています。香港の領域には香港島、九龍半島、新界および周辺の南シナ海に浮かぶ236余りの島が含まれています。面積は1,104㎡であり、札幌市（11,21㎡）とほぼ同じです。

ランタオ島（大嶼山）は領域内で最大の島であり、香港島の約2倍の面積を持ち、香港国際空港の空港島が隣接しています。2005年9月には島内にディズニーランドが開園しました。香港の地形は全体に山がちである。中華人民共和国本土との境辺りを除き平地は少なく、新界の海岸には湿原があります。日本人の多くは、香港島と九龍半島に居住し、日本人学校も香港島の小学部香港校と中学部、新界の大埔にある小学部大埔校及びインターセクションの4校となっています。



2. 香港の概要

(1) 人口

2012年現在の香港の総人口は、統計上では 約700万人で、その約95%が中国人です。出身

地別では、広東省出身者が圧倒的に多いのですが、その他、福建人、上海人、客家人等もいます。現在では、7割近くが香港生まれとなっているようです。

第二次世界大戦が終わった当時の香港の人口60万人から見れば、戦後の人口の増加は著しく、中国からの人口の流入は戦後の難民から今日の合法の移民までずっと続いています。

人口密度は1 km²当たり約6,400人です。香港島、九龍等の市街地では1 km²当たり25,000人を越えています。香港は山岳地を多く抱えるため単純密度は東京23区よりも低いですが、可住地の人口密度は非常に高いと言えます。



(2) 人種

約95%を占める中国人を除くと、香港における外国人居住者は、フィリピン人、インドネシア人で、その多くがメイドなどの出稼ぎ労働者として働いています。次いでアメリカ人、元宗主国のイギリス人が多く、在留邦人は約21,000人です。

(3) 言語

香港の公用語は英語と中国語の二言語です。最も多く話されているのが中国語の方言である広東語ですが、タクシーや買い物など、日常生活における多くの場面で英語でのやりとりも可能です。また、香港の中国への返還に伴い、中国語（普通話：北京語）の使われる割合も増えてきました。

(4) 自然・気候

香港は北回帰線の南に位置し、ハワイ、メキシコシティ辺りと同緯度にあります。中国大陸の東南に位置し、香港島、九龍、広東省と隣接している新界、そして236の周辺諸島に及びます。香港島は平地がほとんどなく、花崗岩の島で坂道が多いのが特徴と言えます。

5月中旬以降は季節では夏に入り、日差しが非常に強く太陽が自分の真上に感じ、影ができない程です。この時期に入ると雨は周期的に降るようになります。朝は28~29℃程で、日中も31~32℃と気温の差はほとんどありません。外に出ていると体感温度はそれ以上に感じ、雨が止んだ後など大変蒸し暑く感じます。

7月に入ると気候は安定してきて、雨もやや少なく湿度も80%台前半になりますが、同時に台風の接近する季節となります。気温は夜7時でもまだ30℃はあります。

8、9月に入っても気温は高めの日が続きますが、天候が変わりやすく雨がよく降ります。

10月に入るとやや涼しくなり、空気も乾燥し過ごしやすくなります。それでも、日本に比べるとかなり暖かです。

1月は、中旬頃から寒くなります。日本のように少しずつ寒く感じるのではなく急です。身体が香港の暖かさに馴れていますから、この時期は気温以上に寒く感じます。例年10℃を切る日は10日間ほどで、その頃の最低気温は5~6℃です。暖房器具はパネルヒーターなどが主流です（石油ストーブは一般的には使用されていません）。パネルヒーターは現地でも購入したり、レンタルしたりすることもできます。

(5) 政治・経済

①政治

長らく英国領植民地でしたが、1997年7月、香港の主権は中国に返還されました。返還後の香港社会の大枠を規定しているのは香港特別行政区基本法です。基本法は主権返還後50年間、香港が資本主義制度を存続することを保証しています。

この基本法により、世界でも例を見ない「一国二制度」の実施に世界が注目しています。

②経済

経済の歩みを見ると、香港は主として中国と他の諸国間の中継貿易に依存していました。その結果、香港には金融、海運、倉庫荷役及び保険施設が生まれ、今日の経済基盤を確立するに至っています。現在、香港経済を支えているのは、中国での製造業、金融業、保険業、不動産業及びビジネスサービス業です。

香港の通貨である香港ドルの紙幣は現在3つの銀行（HSBC、中国銀行、Standard Chartered Bank）で発行されています。それぞれ異なるデザインの紙幣を発行しています。

(6) 香港でのTV放送、台風や大雨時のシグナル等

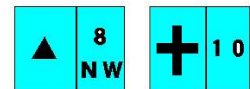
①TV放送

香港では様々な言語で放送されています。主なものは英語、広東語、北京語です。また、「JPタイムズ」と題した日本語放送（香港・日本の理解のための娯楽番組など）が毎週日曜日午前10時から放送されています。また、有料のCATV（ケーブルテレビ）をひけば、NHKのワールド放送サービスが24時間見られます。日本の衛星放送の見られるフラット（住居）もあります。

②天気予報、現在の気温、予想最高気温、湿度

天気予報は、朝のテレビ放送では必ず表示されています。そして、大雨や台風の警報が出ると色のついた雲マークやシグナルが画面に表示され、黒や赤の雲マークやシグナル8で学校が休校になることもあります。

毎朝、その日の天気予報をテレビで確認することが大切です。なお、シグナルについては、マンションやビルの入口、街頭でも表示されます。



(7) 交通（香港の交通手段は非常に充実しており、どれも安くて便利です。）

①バス（巴士、ダブルデッカー）

路線は300以上もあります。運賃は路線によって違います。現金で支払う場合はお釣りが出ません。

②ミニバス（小巴）

マイクロバス（16人乗り、立ち乗りはできない）による交通機関です。慣れればとても便利な交通手段で、その機動性とスリリングさから、「ミニバスは一番香港らしい交通機関だ」と言う人もいます。公共ですが公営の「緑」バスと私営の「赤」バスがあります。運賃は路線と乗車距離によって異なりますがHK\$2.0~20台です。

③MTR（港鉄）

運行時間は早朝5時55分から深夜1時までです。2~8分間隔でっており、運賃はHK\$4.0~です。九龍サイドには、九龍と深センを結ぶ東鉄と、九龍と新界西部を結ぶ西鉄があります。

④路面電車（トラム）

香港島を東西に走る2階建ての路面電車で、6路線あります。トラムは香港らしさを味わえる最高の交通機関と言えるかもしれません。香港の観光パンフレットには必ず登場し、色鮮やかな各企業の広告が車体に描かれていることから「動く広告塔」とも言われています。料金は全線一律HK\$2.3（子供HK\$1.2）でお釣りはもらえません。



⑤タクシー（的士）

通勤にタクシーを利用している学校職員もいます。ラッシュ時の渋滞を除けば非常に便利で、日本に比べて料金が安いです。初乗り2kmまでの基本料金はHK\$20、その後200m毎あるいは1分毎にHK\$1.5が加算されます。九龍と香港を結ぶ海底トンネル通過時は、トンネル通行料の往復分が追加されます。

⑥フェリー

フェリー会社は3社あります。香港島と九龍半島を結ぶ航路は5～10分ほど。主な離島へは20～50分の行程です。運賃は航路によって違い、目的地が行楽地の場合は、日曜や祝日に倍料金になることもあります。各社で多少異なりますが、子どもの運賃は基本的に半額です。



(8) 物価

香港の物価はここ数年、上昇の傾向にあります。交通費や公共料金、日本製を除く食料品や衣料品、嗜好品のビールやワイン等は、比較的、安く買うことができます。それに比べて、輸入に頼る食品（乳製品など）、たばこ等の課税品目は値段も高めです。それ以上に高く感じられるのは住居費です。狭い土地にたくさんの方が住んでいることを考えると、仕方のないことかもしれません。



香港ビール&各国のビール

(9) 日本とのつながり

現在、香港には約21,000人の日本人が住んでいます。香港での邦人滞在者は、企業、特に製造業の中国シフトの影響で、香港の邦人数は減少傾向にあります。

香港には日本からの旅行者も多く、ここ数年毎年130万人余の邦人が訪れています。日系デパート及びスーパー（そごう、ジャスコ、西武、アピタ等）や割烹・レストランもたくさんあります。それらは地元の人々にも人気が高いため、特に、日本人学校小学部香港校に近い銅鑼灣（トンローワン：Causeway Bay）や日本人が多く住む太古（タイクー）等には、日系デパートやスーパーが集中しています。銅鑼灣は、香港で最大の商業地区です。

なお、香港は、過去に日本が占領した時期がありました。戦争当時や戦後は反日感情も高かったようですが、昨今はビジネスや旅行を中心とした良好な関係です。ただ、反日感情は完全に消えたとは言えません。歴史教科書や領土問題で反日的な感情が高まる時もあります。したがって、現地の人々に対する言動には留意する必要があると、価値観の相違をしっかりと認識し、誠意をもって接していくことで現地理解・国際理解につなげていくことが大切です。

(10) 日本人情報

香港には、様々な国籍の人たちが住んでいますが、そんな中で日本人相互の親睦、扶助、福祉の向上、さらに地域社会への奉仕や友好増進を目的に設立された最大の組織が日本人倶楽部です。

創立50年の歴史ある日本人親睦団体で、香港日本人学校の設立母体です。銅鑼灣に立派なクラブハウスがあり、レストランが3つ、また、たくさんの趣味やスポーツのクラブがあります。ゴルフ・野球・ソフトボール・サッカー・ラグビー・乗馬・柔道・ドラゴンボート等の運動部や、邦楽・俳句・ブリッジ・囲碁・将棋等の文化部では、多くの会員が参加して香港での生活を楽しんでいその他に日本企業で組織している経済団体である香港日本人商工会議所等があります。



日本・香港・イギリス連合チーム

(11) 香港の教育

現在香港では、高等教育制度を中心とした改革が行われている途上です。今までは、小学校6年と中学前期課程3年を含む義務教育が合計9年、その後、中学後期課程（高校に相当）が2年、大学予科2年、そして最後に大学3年となっていました。

これは英国統治下により英国型の教育システムに倣っていたためですが、そのシステムを、日本や中国と同じ「六三三四制」へ変更しようとしています。簡単にいうと、予備課程の2年間に1年ずつ、中学後期課程と大学へ振り分けたかたちとなります。

2009年度から3年制の高校が始まり、2012年9月には「四年制大学」への新入学が始まります。

この改革により、中国本土からの留学生は、ダイレクトに香港の大学へ入学できることになり、従来は1年間、予備課程が必要だったものが不要となります。そのため、ますます香港の大学人気は高まっていくと予想されます。

香港では、大学教育は全て英語で行われており、都市の中にあるので通学にも便利です。

また、英語ができないと大学に行くことができない香港というなれば超学歴社会であると言えます。そのため、幼稚園からの受験は香港では普通であり、香港の子どもの教育費はある私立大学までに約6000万円程度かかるという話を聞いたこともあります。

その反面、香港で公立の小学や中学にあげていけば教育費はあまりかかりません。つまり子どもの時からの教育格差がはっきりしていて、小さいときからいい学校に進んでいなければその段階で俗にいう“落ちこぼれ”となり、将来の収入等もだいたい決まってしまうのが現実です。しかし、大学まで進学する子どもは全体の一部でしかありません。

香港の初等教育は、下の『Hennessy Road Government Primary AM School 5年生日課表』でも分かるとおり、香港の小学校や幼稚園では午前と午後の2部制の学校があり、一般的な授業時間は午前のクラスは9時～12時、午後のクラスは13時半～16時半となっています。また、全日制を設けている小学校・幼稚園もあります。

更に超学歴社会が大きく影響し、例えば午前のクラスに通って子どもは、午後はバイオリンやバレエのお稽古に通い、塾や家庭教師で英語の補修も行っている。小学3年生になると成績でクラスわけもあり、宿題の量も1日平均6～7つは持って帰ってくるそうで、夜遅くまで家族総出で宿題にとりかかる日もあるほど家庭によってはすさまじい教育熱である。

もちろん土日は、みんな当然のように学習塾に通っています。一方、勉強のストレスや親や先生からのプレッシャーで、家庭内暴力や若くして命を絶つ子どもも少なくないようで、香港の社会問題の一つとなっています。

そのため、香港では学校教育においても、家庭教育においても、体育教育は重要視されていないが実際です。学習塾や習い事のほか、IDを取得できない年齢の子は子どもだけで外出できないという法律もあるため、子どもたちの集まりそうな運動公園には、香港の子どもの姿は殆ど見られません。屋外での運動や活動が制約されることもあり、十分な身体活動ができないことも多いようです。

また、香港は日本人学校だけではなく、現地の学校を見ても、敷地が狭く広い運動場や体育館など、十分な活動場所が少ないです。しかしその反面、香



軒尼詩道官立下前小學運動場



軒尼詩道官立下前小學屋上運動スペース



St.ポール校屋上運動スペース

港の至る所にサッカーピッチやバスケットコートが存在し、現地住民が活用しています。しかし、利用者の多くは大人であり、小中学生の利用はほとんど見かけないのが現状です。

軒尼詩道官立下前小學～【Hennessy Road Government Primary AM School 5年生日課表】

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---------------------------------|----|----|----|-----|----|----|
| 1 01:40-02:15 08:00-08:35 | 数学 | 数学 | 数学 | 数学 | 数学 | 読書 |
| 2 02:15-02:50 08:35-09:10 | 英文 | 中文 | 英文 | 英文 | 数学 | 数学 |
| 3 03:05-03:40 09:10-09:45 | 中文 | 外英 | 中作 | 英文 | 英文 | 英文 |
| 4 03:40-04:15 10:00-10:35 | 中文 | 外英 | 中作 | 中文 | 外英 | 中文 |
| 5 04:15-04:50 10:35-11:20 | 体育 | 普話 | 体育 | 常識 | 中文 | 徳民 |
| 6 05:05-05:40 11:20-12:30 | 常識 | 音楽 | 常識 | 音楽 | 視藝 | 課動 |
| 7 05:40-06:20 00:00-00:00 | 電腦 | 常識 | 常識 | 圖／成 | 視藝 | |

中文…広東語 中作…広東語による作文 普通話…北京語 英文…英語 外英…英会話(ネイティブ イングリッシュ)
 電腦…コンピュータ 常識…日本の理科と社会の学習内容をもった教科 視藝…宗教教育 徳民…道徳
 課動…クラブ活動 圖／成…

(12) 治安

人口あたりの犯罪発生件数は東京より低く、検挙率は日本より高いです。香港在住の日本人も香港は治安のよい住みやすい街と評価しています。しかしながら、外国人旅行者を狙った犯罪も少なくありません。尖沙咀（チムサアチョイ）のネイザンロード周辺では、観光客を見分け、二セモノ時計、二セモノバッグを売りつけようとする人が多くみられます。国内でも同じですが、安全は自ら気を引き締めて得られるものと考えることが大切です。まず、多額の現金は持ち歩かない方がよいでしょう。特に女性は、バッグなどを肩にかけるだけでなく、手でしっかり持つとよいと思います。いつも安全に配慮して行動した方が賢明です。

また、香港では香港政庁発行のIDカード（身分証明書）の携帯が義務づけられています。香港市民は全員、身分を証明するIDカードを所有しています。しかも常に身につけていなければなりません。もし所持を忘れると、HK\$ 1,000の罰金が課せられます。IDカードは、いわば一人ひとりの背番号です。単に身分を証明するだけでなく、その人のデータが政府のコンピュータに入力・管理され、犯罪防止等にも役立てられています。私たち日本人も、11歳以上の子どもを含め大人全員がIDカードを所持しながら生活しています。街角では、警官が通行人を呼び止め、IDカードの提示を求めている光景を見ることもあります。赴任後IDカードができるまではパスポートのコピーをいつも携帯しておかなければなりません。

3 香港日本人学校の概要

(1) 香港日本人学校小学部香港校

①学校周辺の地形

香港日本人学校小学部香港校は、香港島のほぼ中央部の高台に位置します。小学部からの見晴らしは大変よく、美しい香港の街並みを見ることができます。

学校の北側は、山のふもとから低くて平らな土地が続き、住宅や会社等の高い建物があります。遠くにビクトリア港が見えます。西側も高い山が連なり、山の斜面には高層住宅や病院等があります。南側は渣甸（ジャーディン）山から続く低い山があり、住宅は少ししかありません。その山の南側は、水上生活者等で有名な香港仔（アバディーン）、映画「慕情」の舞台となった浅水湾（レパルスベイ）等の海岸線があります。東側もまた高い山が連なっており、その山々の向こう側には中学部があります。

このように、学校の周りには山がたくさんあるため坂道が多く、近くに住む学校関係者もバスやタクシーを利用して通勤します。近くの道は、タクシー・バス・ミニバス等が常時走って大変便利です。スーパーや飲食店は学校の近くにはありませんが、坂を下りるとハッピーバレーという街があり、市場や飲食店や住宅等が集まっています。学校の近くには、現地の農崗特殊学校やマリーマウントスクール、フレンチインターナショナルスクールもあります。周りでは、学校のすぐ南の渣甸（ジャーディン）山は遊歩道が整備されており、低学年の生活科や中学年の社会科見学等で登ります。植物や昆虫等の種類も多く、香港の自然を満喫できます。5月頃より蝉がにぎやかに鳴いています。



②学校の概要

ア 所在地

- No.157 BLUE POOL ROAD, HAPPY VALLEY, HONG KONG
香港藍塘道157
TEL : 25745479 (事務局) 28347375 (職員室)
FAX : 28381617 (事務局)
ホームページアドレス <http://www.hkjs.edu.hk/>

- イ 面積 ・2,559㎡
- ウ 校舎 ・地下2階 地上5階 校庭 プール 体育館
- エ 児童数 ・第3学年2クラス 他 3クラス 合計17クラス
他に特別支援教育を行っています。
・445名(2012年2月現在)

| | 男子 | 女子 | 合計 | 家庭数 |
|----|-----|-----|-----|-----|
| 1年 | 43 | 30 | 73 | 72 |
| 2年 | 30 | 28 | 58 | 58 |
| 3年 | 33 | 26 | 59 | 49 |
| 4年 | 49 | 40 | 89 | 68 |
| 5年 | 42 | 39 | 81 | 51 |
| 6年 | 49 | 36 | 85 | 42 |
| 計 | 246 | 199 | 445 | 340 |



- オ 時程
 - 8:15 ~ 8:25 職員の朝会(月、木)
 - 8:15 ~ 8:35 おはようタイム、学級の時間
 - 8:35 ~ 9:20 1校時(授業は45分間)
 - 9:30 ~10:15 2校時
 - 10:15 ~10:35 中休み
 - 10:35 ~11:20 3校時
 - 11:30 ~12:15 4校時
 - 12:15 ~13:00 昼食・休憩
 - 13:00 ~13:15 掃除
 - 13:20 ~14:05 5校時
 - 14:10 ~14:55 6校時

- ・児童の下校…月～木曜日は全学年一斉バス下校、金曜日は1～3年生は5時間授業後バス下校、4～6年は隔週で児童委員会とクラブ活動を行いバス下校。

- ・学校週5日制を実施。

- カ 教員数 ・教員数34名(英会話スタッフ6名、図工イマージョン1名を含む)

- ・外部のテニスコートやグラウンドに出かけるクラブもあります。

- キ クラブ ・クラブは児童の希望により可能なものがつくられます。

- ク 学校行事
 - ・1学期 入学式、授業参観、学年遠足 交流会など
 - ・2学期 運動会、交流会、修学旅行、宿泊学習など
 - ・3学期 オープンデー、授業参観、卒業式など

- ケ 交通手段
 - ・学校関係者はタクシー、バス、ミニバスで通勤しています。
 - ・児童は通学(スクール)バスが大半ですが、一部徒歩、公営バス等を利用する児童もいます。

- コ その他
 - ・上靴は無く教室内も一部を除いて外と同じ靴ですが、体育館 シューズ は必要。
 - ・昼は弁当持参が多いですが、出前の弁当も注文できます。



③特 色

〔英会話の授業〕

1～6年生までの各学年、週3時間の6名の英会話スタッフによる英会話の授業が行われています。

英会話スタッフは、それぞれイギリス、アメリカ、カナダ、アイルランド出身の母国語が英語のネイティブスピーカーです。

児童の英会話技能に併せ、初級のクラス、リスニングが得意のクラス、リーディングが得意のクラス、ライティングが得意のクラス、英会話技能が上級か、家庭での会話が英語主体である児童のクラスに分かれて行う。毎学期通知票のほかに、イングリッシュレポートも渡され、児童の成長を過程へお知らせしている。



〔図エイマージョン〕

香港の現役のアーティストを図画工作科の教師として採用し、4年生以上児童が英語で行われる授業をうけます。

ただし、編入学したての児童に対してやや専門的な単語、理解しにくい説明は日本人のスタッフがサポートします。どの学年も概ね英語での説明で理解しています。



〔学校行事及び校外学習〕

修学旅行（上海）、宿泊学習（広州）をはじめ、トレイルコース（ハイキングコース）を歩く遠足や動物とのふれあいを通して豊かな心を育てる「アニマルスピーク（英語での授業）」、ドラゴンボート体験やトラム（路面電車）での町探検など香港ならではの行事や校外学習がたくさんある。

しかし夏場は、気温30～33℃、湿度90%以上という日が多く、熱中症などの対策に注意が必要です。



〔香港の休日：参考〕

香港日本人学校は、天皇誕生日以外は香港の休日に併せて休みをとる。

| 2012年祝日 | 月日 | 2012年祝日 | 月日 |
|-----------|-------|----------------|--------|
| 元旦 | 1月 1日 | 労働節 | 5月 1日 |
| 旧正月の元旦 | 1月23日 | 端午節 | 6月23日 |
| 旧正月の2日 | 1月24日 | 香港特別行政区成立記念日翌日 | 7月 2日 |
| 旧正月の3日 | 1月25日 | 中秋節翌日 | 10月 1日 |
| 清明節 | 4月 4日 | 国慶節翌日 | 10月 2日 |
| 聖金曜日 | 4月 6日 | 重陽節 | 10月23日 |
| 聖金曜日の翌日 | 4月 7日 | 聖誕節 | 12月25日 |
| イースターマンデー | 4月 9日 | 聖誕節後第一個周日 | 12月26日 |
| 仏誕節 | 4月28日 | | |

4 終わりに

赴任早々の新型インフルエンザ（豚インフルエンザ）の流行による休校や尖閣諸島問題による日本人行事の自粛など日本国内では感じ得られない様々な体験をすることができました。また他国と比べ、治安のよい香港だからこそ、深めることのできた現地の方々との交流。そして海外では通用しない日本の常識など多くを学んだ3年間でした。

過去に犯した日本の過ちに対する香港、中国の方々の感情は消えることはないと思うが、私が知り合うことのできた多くの方は、大陸のような大きな心で私たちを受け入れてくれました。

3年間という限られた時間と与えられた環境の中で最大限努力をし、一つでも多くの成果を上げなければならないのが日本人学校であると感じました。保護者からの大きな期待に応え、今までの経験だけでは対応することのできない課題などにぶつかることも多々ありました。しかし、そのような時必ずサポートしてくれるのが、学校長をはじめ、全国から集まった仲間であり、帯同した家族でした。そして質の高い教職員集団の中でたくさんの刺激を受けました。

未来を見つめる子どもたちの目の輝きは香港も、日本も、同じです。そして子どもたちは大きな大きな可能性を秘めています。この派遣で私を支えてくださった多くの方に感謝の心を表すためにも、帰国をした私の役割そして使命として、この研修で学んだ多くのことを北斗市や渡島の教育に活かしていくことだと考えています。

